

全ゲノム解析による変異株検査を開始

現在、鳥取大学医学部に依頼しゲノム解析を実施中



県衛生環境研究所で全ゲノム解析による変異株検査を開始



※現在は国立感染症研究所に検体を送付

県内の変異株検査体制の充実

- 全ゲノム配列を解析することにより、インド株など、様々な変異株を検出可能
 - 県内で検査を実施することにより、迅速に結果を把握(4~7日間程度)
 - 鳥取大学医学部と引き続き連携し、変異株の流行状況把握や感染経路の推定に活用
- ※現在実施中の変異株スクリーニング検査はN501Yのみ検出可能であり、他は検出不可能

